アイデアを カタチにしたい！

九州国際大学・福島ゼミ生
応援プロジェクト

世界中の車いすの新郎のために
健常者の花嫁と目線を合わせた結婚式を挙げられるよう
婚礼用昇降式電動車いす「タキシーマ・ペガサス」を製作します！

目標資金 188 万円
成立期限 5月5日 11:00Pm

5/5 11:00pm までに 1,880,000 円以上集まった場合に成立。

九州国際大学・国際関係学部
仲座クリストファ光樹さん
（福島ゼミ）

九州国際大学卒業生及び保護者の皆さま、この度はご卒業おめでとうございます。
新たな船出を迎えられる先輩方・保護者の皆さまに福島ゼミの活動について、ご理解とご協力をいただきたくペンを握りました。
私は、沖縄から九州国際大学に進学し、福島ゼミでホスピタリティについて研究しています。現在は、障害があっても望んだ結婚式を挙げられる、車いすの男性向け婚礼プロジェクト「タキシーマ・ウエディング」の実現に向けて取り組んでいます。「花嫁との同じ目線で挙式をあげることができる」をコンセプトに制作した婚礼用昇降式電動車いす「タキシーマ（実用新案取得済み）」は、昨年 9 月 12 日には、NHK 大阪主催の障がい者のためのバリアフリーファッションショー「はるな愛プロデュース～バリコレ～」にも出品し、共演した障がい者の方やお客さんから大変嬉しい評価を頂くことができました。
しかし、婚礼用昇降式電動車いす「タキシーマ」の製作費は 1 台あたり 133 万円がかかってしまいます。今回はこの製作費とリターンや手数料含め、188 万円を集めるために、ぜひともみなさまのお力をお貸しいただきたいと思います。**どうか心温まるご支援をよろしくお願いいたします。**

クラウドファンディング サイト「READY FOR ?」
「タキシーマ」資金提供ページ

紹介された新聞記事 & テレビ放送

NHK「はるな愛プロデュース～バリコレ～」に紹介

ニュース

トップ

【福岡県】

車いすの新郎に晴れ着を 和洋折衷「タキシーマ」 九国大生発案

西日本新聞 2015年9月8日(火)

車いす用の婚礼衣装の打ち合わせをする九州国際大の松本健一郎さん（後方右）たち

九州国際大（北九州市八幡東区）の学生たちが、車いすを利用する新郎向けの婚礼衣装作りに取り組んでいる。「格好良い服で晴れ舞台に立ちたい」という新郎の夢をかなえようと、車いすに長時間乗っても着崩れしない、タキシードとはかまを組み合わせた「タキシーマ」を発案。商品化して実用新案登録を目指しており、大学発のビジネスにつなげる考えだ。

企画したのは福島規子教授（観光学）のゼミに所属する2年の男子学生5人。「ホスピタリティ」（おもてなし）をテーマに、自ら課題を発見し、解決方法を探す「課題解決型学習」の一環で取り組んだ。プロジェクトリーダー石本雅大さん（19）が「世の中にない物を作って社会に役立ちたい」と車いす利用者用婚礼衣装作りを提案。車いすを利用する新婦向けドレスは既に商品化されており、新郎用に挑むことにした。

挙式した車いす利用者から聞き取りを重ね、上半身は着崩れしないタキシードが、下半身はすその長さを調整しやすいはかまが、婚礼向きと分析。二つを組み合わせ「タキシーマ」と名付けた。

衣装作りは、香蘭ファッションデザイン専門学校（福岡市）の学生2人の協力を仰ぎ、「使いやすさ」と「格好良さ」を両立。東京のメーカーが開発した昇降式電動車いすも活用し、新郎と新婦が目線を合わせられるように工夫した。車いす利用者からも「着てみたい」と評判が良いという。

タキシーマ作りは仕上げ段階に入っており、ゼミ長の松本健一郎さん（19）は「和洋を調和させ、健常者も障害者も格好良く着ることができる」と自信を見せる。学生によるベンチャー企業を立ち上げ、タキシーマのレンタル事業を始める構想もあり、実用新案登録担当の穴井祐汰さん（19）は「新しいアイデアが詰まった衣装。多くの人に届けたい」と話している。

衣装は12日に大阪市内であるファッションショーでお披露目。10月28日午後2時から同大で開かれる観光シンポジウムで紹介する。

2015 年 9 月 8 日（火）西日本新聞掲載